

Die (友情) Freundschaft

事務局：
〒010-1632 秋田市新屋大川町 12-3
秋田公立美術大学 野村研究室内
<http://www.jdg-akita.org>
(018)888-8110
nomura@akibi.ac.jp

姉妹都市提携 40 周年記念行事の大成功を！

副会長/事務局長 野村 松信



新年、明けましておめでとうございます。今年は、秋田市—パッサウ市姉妹都市提携 40 周年の意義深い年となります。秋田市とパッサウ市とは、姉妹都市提携から 5 年ごとの佳節の年には、市長を団長とする市民交流団を交互に派遣し、市民レベルでの交流事業を推進しております。5 年前、姉妹提携 35 周年の際には、秋田市から市民合唱団の関係者も含め、総勢約 70 名がパッサウ市を訪問し、聖シュテファン大聖堂において、厳粛な雰囲気の中、両市合唱団による合同合唱コンサートを盛大に開催し、パッサウ市民からも絶大な称賛を得ました。今でも思い出すと感慨深いものがあります。

一昨年 (2022 年) 6 月には、駐日ドイツ大使 Dr. C. フォン・ゲツツェ閣下のご臨席をいただき、協会創立 50 周年記念式典・記念講演会を盛大に開催できました。また、昨年 (2023 年) 9 月には、姉妹都市提携 40 周年記念行事のプレイベントとして、「芸術家交流プロジェクト」がスタートし、秋田市とパッサウ市に在住のプロの写真家を相互に 2 週間の派遣・受入れを実現し、その成果は、今年 8 月の両市での写真展開催と記念写真集発刊として結実します。

さらに、現在、パッサウ市の青年のワーキングホリデーを活用した秋田市内ホテルでの 1 年間のインターンシップを協会としての支援が進行中です。これ以外にも国際教養大学へのドイツ人留学生による講演会などの交流行事も活発に実施しております。コロナ禍後、パッサウ市からのお客様が、秋田市を訪問する場面が増えており、協会として様々な対応を実施しています。秋田市からも、会員の高校生の娘さんが、10 ヶ月のドイツ留学中です。このように、この数年間、秋田とドイツとの交流活動が活発です。

今年 8 月は、パッサウ市のドゥッパー市長を団長として、音楽家 5 名を含む約 40 名のパッサウ市民交流団が竿燈祭り期間中に秋田市を訪問します。訪問中には、秋田市側とも連携しながら、記念コンサートや写真展の開催や歓迎行事などを計画しています。協会主

催の歓迎会開催や交流行事への積極的な参加を予定しております。詳細について、後日、会員の皆様へご案内申し上げます。

52 年前に故高田景次秋田市長の尽力により設立された協会が、代々の両市の協会会長はじめ多くの先輩会員の皆様のご尽力により、今日のような形に発展することが出来ました。

現在は、高速情報通信技術等の発展により、半世紀前には、想像も出来ない姿で、遠く離れたドイツの友人とのビデオ通話やビデオ会議での交流が気軽に日常的に可能となる時代となりました。しかし、文化や習慣が異なる海外の皆様とは、直接の対話や芸術・文化交流することが、市民レベル・草の根レベルでの相互理解の深化となることは、間違いないと考えます。パッサウ市民訪問団の皆様には、短期間の滞在ですが、秋田の文化や祭りなどの体験を通して、現在の秋田・日本を正しく知っていただき、多くの楽しい思い出を心に刻んでいただけるよう、会員の皆様が協力し、心から歓迎したいと思えます。会員の皆様自身もパッサウ市民の皆様との交流を楽しんでいただきたいと思います。そして、姉妹都市提携 40 周年記念行事の成功のために、未来の秋田・日本を担っていく会員の皆様のお子様、お孫さんも一緒に交流活動に参加していただくことを強く希望します。



パッサウ市からのゲストの市長表敬訪問

《会員のご息よりご寄稿いただきました》

ドイツ日記 前編

秋田南高等学校3年

平野 亜子

こんにちは。私は2023年の夏からドイツ留学をしている平野亜子と申します。現在、私はブランデンブルグ州のとある村で生活しており、ここでの生活は3ヶ月を迎えるところです。今回は、ドイツの食文化とフリータイムの過ごし方、ドイツのクリスマスについてお話ししたいと思います。

私がドイツで感じた一番大きな違いは食文化の違いです。ドイツの食文化について聞かれた時に、“冷食”を思い浮かべる人は多いのではないのでしょうか。冷食とは、温められていない食事のことを指します。食に関しては家庭によって差はありますが、日本に比べ温かいものを食べる頻度は少ないです。この理由としてドイツではパンの消費量が大変多いということが関係していると私は考えます。毎食パンを食べる人がいるほどで、大きな塊として売っているパンをスライスカットし、チーズやハムなどをサンドして食べます。時にはスープと数切れのパンが一食になることもあります。そして、もう一つの理由は食に対する意識の違いです。日本では学校で食育の授業を受け、栄養バランスの整った食事が自分自身の体にどう影響するのかということをおぼろげに学ぶ事によって、自然と食事に対する高い意識を持つきっかけがあります。一方ドイツでは、家庭科などの授業はなく食育などを受けることがありません。ドイツ人にとって、朝から料理をし温かい食事を摂るということはすごいことのように感じます。私はこの食文化の違いを通して、日本で毎食温かいものを食べられること、それらを作ってくれている人たち、簡単に安く栄養価の高い物を食べられる環境に対する感謝の気持ちを強く持つようになりました。

次に、フリータイムの過ごし方についてご紹介します。ドイツ人は非常にアクティブであり、サイクリングや散歩、夏には池やプールで泳ぐことを趣味とする人が多いです。また、一戸建てに住む人の多くは広い庭を有し、ガーデニングや焚き火を楽しんだり、バーベキューをしたりします。ドイツでは日本に比べ、与えられる娯楽を楽しむよりも、自分たちでクリエイティブに自然を生かした活動が好まれる傾向があると感じます。

続いてドイツのクリスマスについてです。私がドイ

ツを選んだ理由の一つは本場のクリスマスマーケットを見たいというものでした。そんな私の夢をホストファミリーは叶えてくれて、世界最古のクリスマスマーケットと呼ばれるドレスデンを始め、エアフルト、近くの村や町などたくさんの場所へ足を運びました。どれも幻想的な美しさとクリスマスに心躍らせる人々の声で溢れていて、非常に美しいものでした。クリスマスというものがドイツ人にとって家族との大事な時間であることを学び、日本とはまた違うクリスマスの素敵な時間を過ごしました。

最後に、このように私のドイツ留学について紹介する機会をいただきありがとうございます。次回もどうぞお楽しみに。

クリスマス
マーケットで



ホストファミリーと一緒に



ホストファミリーのお母さんと一緒に料理

《姉妹都市提携 40 周年記念事業「芸術家交流プロジェクト」》

40 周年記念事業のイベントとして、昨年（2023 年）9 月に、異なる文化的背景を持つプロの写真家が、芸術的視点から両市の自然・文化などを相互に撮影しあうプロジェクトがスタートしました。9 月 3 日～18 日まで、秋田市からは、草薨裕氏（会員・秋田公立美術大学助教）がパッサウ市を訪問し、パッサウ市街および近郊の自然などを撮影。また、同 15 日～28 日まで、パッサウ市からクラウス・ディッテ氏が秋田市を訪問し、自然・人・文化など撮影しました。撮影した写真は、本年 8 月に両市を会場にして写真展を開催し、写真を通し相互の自然・人・文化について多くの市民の皆様へ紹介します。



パッサウを訪問した草薨氏（左から 2 人目）
クラウス氏のご家族と友人たちと/パッサウ市

《インターンシップ コロベニアン君の受け入れ》

2023 年 9 月から 2024 年 8 月までの 1 年間、パッサウ市出身のコロベニアン君がワーキングホリデー制度を利用して秋田市に滞在し、ホテルメトロポリタン秋田の厨房で日本料理を習得中です。本協会は、パッサウ独日協会の依頼により、彼の秋田市滞在中の生活面などで、様々なサポートを実施しています。彼は、民放テレビ局 AKT のインタビューを受けて、「自分が秋田日独協会関係者のご配慮により、秋田市に滞在が認められ、”日本料理の研鑽”を積めることに感謝しています。」と話していました。また、「秋田市から大きな希望を抱いてパッサウ市を訪れる若者に対し、自分たちも誠心誠意、その受け入れに尽力したい。」等とのコメントを寄せていました。



ホテル厨房で働くコロベニアン君
(AKT で放送されました)

《2023 ドイツ人留学生による講演会&懇親会》

2023 年 4 月 1 日（土）18 時からドイツ人留学生による講演会および懇親会がメトロポリタン秋田で開催されました（参加者 39 名）。

今回の講演では、国際教養大学へ留学中の Loreta Seybold（ロレッタ・ザイボルト）さんと Carlotta Olk（カルロッタ・オルク）さんが大学で学んでいることや日本および秋田での生活について語ってくれました。お二人とも日本をそして秋田を大変気に入っていることが伝わってきました。



《2023 年度定時総会・歓迎会》

2023 年 9 月 23 日（土）18 時から定時総会および歓迎祝賀会がメトロポリタン秋田で開催されました（参加者 45 名）。今回は秋田に滞在中の 5 名のドイツ人と共に会場内各席でたくさんの交流が生まれました。

姉妹都市提携 40 周年記念事業「芸術家交流プロジェクト」で秋田市を訪れたパッサウ在住の写真家 Ditte（ディッテ）さんを始め、メトロポリタン秋田の厨房でインターンシップ中の Korbinian（コルベニアン）君、国際教養大学に留学中の Emilia（エミリア）さん、同じく Janine（ヤニン）さん、聖霊高校に留学中の Finja（フィンヤ）さんをお招きしました。



《訃報》

旭北小学校姉妹校のノイシュティフト小学校元校長 Wilhelm Reitmeier 氏が、2023 年 6 月 23 日、84 歳のご生涯を終えられました。秋田日独協会は、故人の功績を称えるとともに、哀悼の意を表し、会員の皆様へご報告します。



《2024 年度の予定》

2024 年

2 月上旬 会報 (Nr. 15) 発行

2 月 10 日 新年祝賀会・記念講演会

6 月上旬 定時総会

8 月 3 日～8 日 パッサウ市交流団歓迎会・交流行事

11 月上旬 日本語スピーチコンテスト (協賛)

2025 年

2 月上旬 会報 (Nr. 16 発行)

2 月中旬 新年祝賀会・記念講演会

《寄付金募集について》

寄付金へのご協力、誠にありがとうございます。今年度は、姉妹提携 40 周年記念事業として、パッサウ市民交流団（約 40 名）歓迎会の開催や多くの関連行事などが計画されております。

これに伴い、通常年度以上に、予算が見込まれております。令和 5 年度の締め切りは、2 月末日です。まだ、未納の会員におかれましては、よろしくお願ひします。また、令和 6 年度にも、寄付金募集いたします。どうぞ、ご理解をよろしくお願ひします。

ドイツ語で格言・諺: **Vierzig Jahre alt ist des Lebens Hochsommer.**

- Sigurd Hoel -

40 歳は人生の真夏だ。

- シグル・ホール(ノルウェーの作家) -

《編集後記》

今年 2024 年はパッサウとの姉妹都市提携 40 周年記念の年であり、夏にパッサウからの訪問団を受け入れる予定です。皆さんぜひドイツ人とたくさんの交流をしましょう！次号ではその模様をたっぷりお届けできそうです。

会員の皆さんからの寄稿やメッセージ、そして、ドイツに関する話題などを広く募集します。送り先は、表紙の事務局の住所へ、または、メールにてお送りください。

法人会員

(株) 秋田魁新報社様

(株) JTB 東北秋田支店様

(株) 東北 i ツアーズ様

(株) 日本旅行東北秋田支店様

秋田テレビ(株) 様